

第一級アマチュア無線技士 モールス符号の覚え方



■ モールス符号を簡単に覚える方法

第一級アマチュア無線技士の国家試験では、電気通信術の実技の試験はありませんが、モールス符号を知っているかどうか、法規の問題に含まれて5問程度出題されます。音によるモールス符号の電気通信術としての試験ではなく、「紙に書かれたモールス符号」が何であるかを問う試験ですから、試験時間いっぱいの中で答えればよいのでかなり容易に解答することができます。

しかし、いくら紙に書かれた問題であっても、モールス符号そのものは知っておかないことには正答を得ることはできませんから、とりあえずどのようにしてモールス符号を覚えるかがポイントになります。そこでおすすめするのが「^{ごうちょうご}合調語」法です。

この方法は、点「・」と線「ー」の組合せで構成されているモールス符号を「言葉に替えて」覚えるといういわばインスタント式で、「合調語」法と呼ばれます。

数字は「・」と「ー」を組み合わせて作られており、その構成は必ず五つで、しかも「・」の連続、「ー」の連続の組み合わせです。

1～5までは「・」の連続で始まります。

1は「・」が一つで「ー」が四つ ・―――

2は「・」が二つで「ー」が三つ ・・――

3は「・」が三つで「ー」が二つ ・・・――

4は「・」が四つで「ー」が一つ ・・・・―

5は「・」が五つで「ー」がなし ・・・・・

そして6～0までは逆に「ー」の連続で始まります。

6は「ー」が一つで「・」が四つ ―・・・・

7は「ー」が二つで「・」が三つ ――・・・

8は「ー」が三つで「・」が二つ ―――・・

9は「ー」が四つで「・」が一つ ―――・

0は「ー」が五つで「・」がなし ―――

このように数字には規則性がありますから、覚えるのは簡単です。また、Q符号や略符号（4ページ以降参照）などに関連して出題されるので、これらも覚えておくようにしましょう。

合調語法の特徴は、下記の事項があげられます。

- ・アルファベット26文字なら数日で覚えられる
- ・受信速度は1分間に40～50字は問題なく受信できる
- ・受信速度が速くなるにつれて、頭の中でモールス符号を文字に変換することができなくなり、受信不能に陥る傾向にある

しかし、文字で書かれたモールス符号は、音のように一瞬のうちに聞こえなくなるものではなく、試験時間中は文字に書かれたままですから、速度（速さ）というものはありません。したがって、単純に**国家試験を突破するだけでよい**、という方はぜひこの方法でモールス符号を覚えることをおすすめします。ただし、モールス符号によるCW通信を楽しむという方は、できればこの方法によらず従来からの「音感法」（モールス符号の音を即、文字として認識する）によって覚えてください。

欧文モールス符号表 (抜粋)

文字	符号と合調語	文字	符号と合調語
A	アレー ・－ 鋳鈴	N	ノート －・ ノート
B	ボータオス －・・・ 棒倒す	O	オーキューホー － － － 応急法
C	チャートルーム －・－・ チャートルーム	P	プレーボール ・－ － ・ ぶれー ぼーる play ball
D	ドートク －・・・ 道徳	Q	キューキューシキュー － － ・ － きゅーきゅーしきゅー 救急至急
E	エ ・ 絵	R	レコード ・－・ れこーど レコード
F	フルドーク ・・－・ ふるどーぐ 古道具	S	ススメ ・・・ すすめ 進め
G	ゴージョーダ － － ・ ゴーじょーだ 強情だ	T	ティー － t e a ティー
H	ハイカラ ・・・・ はいから ハイカラ	U	ウタゴー ・・－ うたごー 疑ごー
I	イシ ・・ いし 石	V	ビクトリー ・・・－ びくとりー ビクトリー
J	ジェーホーホー ・－ － － じえーほーほー 自衛方法	W	ワヨーフー ・－－ わよーふー 和洋風
K	ケーシチョー －・－ けーしちよー 警視庁	X	イーエクスレー －・・－ いえくすれー X r a y
L	ルロースル ・－・・・ るるーする 流浪する	Y	ヨーシコーコー －・－－ よーしこーこー 養子孝行
M	メーデー －－ めーでー メーデー	Z	ザーザーアメ －－・・・ ざーざーあめ ざーざー雨
数字	符号	数字	符号
1	・－ － － －	6	－・・・・
2	・・－ － －	7	－ － ・・・
3	・・・－ －	8	－ － － ・・
4	・・・・－	9	－ － － － ・
5	・・・・・	0	－ － － － －
記号	符号		
?	・・－ － ・・		
送信終了後 \overline{AR}	・－・－・	お待ち下さい \overline{AS}	・－・・・
通信完了符号 \overline{VA}	・・・－・－	非常符号 $\overline{OS0}$	－ － － ・・・－ － －
訂正符号 \overline{HH}	・・・・・		

■ 合調語法によるモールス符号の覚え方

例 Aのモールス符号は「・－」であるから、「アレー」と覚える。「ア」は短いので「・」であり、「レー」は長く「－」であるので「A」は「アレー」＝「・－」と、簡単に覚えることができる。

注意：この方法は、モールス符号をいったん頭の中で合調語に変換しなければならず、そのための時間を要するので速いスピードの受信には不向きです。したがって、単に試験に合格するためだけにモールス符号を覚えるという方以外には、おすすめしません。

別表第2号 Q符号（抜粋）（運用規則第13条）

Q符号	意 義	
	問 い	答 え又は通知
QRA	貴局名は、何ですか。	当局名は、…です。
QRI	こちらの発射の音調は、どうですか。	そちらの発射の音調は、 1 良いです。 2 変化します。 3 悪いです。
QRH	こちらの周波数は、変化しますか。	そちらの周波数は、変化します。
QRK	こちらの信号（又は…（名称又は呼出符号）の信号）の明りょう度は、どうですか。	そちらの信号（又は…（名称又は呼出符号）の信号）の明りょう度は、 1 悪いです。 2 かなり悪いです。 3 かなり良いです。 4 良いです。 5 非常に良いです。
QRL	そちらは、通信中ですか。	こちらは、通信中です（又はこちらは、…（名称又は呼出符号）と通信中です。）。妨害しないでください。
QRM	こちらの伝送は、混信を受けていますか。	そちらの伝送は、 1 混信を受けていません。 2 少し混信を受けています。 3 かなりの混信を受けています。 4 強い混信を受けています。 5 非常に強い混信を受けています。
QRN	そちらは、空電に妨げられていますか。	こちらは、 1 空電に妨げられていません。 2 少し空電に妨げられています。 3 かなり空電に妨げられています。 4 強い空電に妨げられています。 5 非常に強い空電に妨げられています。
QRO	こちらは、送信機の電力を増加しましょうか。	送信機の電力を増加してください。
QRP	こちらは、送信機の電力を減少しましょうか。	送信機の電力を減少してください。
QRQ	こちらは、もっと速く送信しましょうか。	もっと速く送信してください（1分間に…語）。
QRS	こちらは、もっとおそく送信しましょうか。	もっとおそく送信してください（1分間に…語）。
QRT	こちらは、送信を中止しましょうか。	送信を中止してください。
QRU	そちらは、こちらへ伝送するものがありますか。	こちらは、そちらへ伝送するものではありません。
QRV	そちらは、用意ができましたか。	こちらは、用意ができました。

Q符号	意 義	
	問 い	答 え又は通知
QRX	そちらは、何時に再びこちらを呼びますか。	こちらは…時に (…kHz (又はMHz) で) 再びこちらを呼びます。
QRZ	誰がこちらを呼んでいますか。	そちらは、…から (…kHz (又はMHz) で) 呼ばれています。
QSA	こちらの信号 (又は… (名称又は呼出符号) の信号) の強さは、どうですか。	そちらの信号 (又は… (名称又は呼出符号) の信号) の強さは、 1 ほとんど感じません。 2 弱いです。 3 かなり強いです。 4 強いです。 5 非常に強いです。
QSB	こちらの信号には、フェージングがありますか。	そちらの信号には、フェージングがあります。
QSL	そちらは、受信証を送ることができますか。	こちらは、受信証を送ります。
QSO	そちらは、… (名称又は呼出符号) と直接 (又は中継で) 通信することができますか。	こちらは、… (名称又は呼出符号) と直接 (又は…の中継で) 通信することができます。
QSP	そちらは、無料で… (名称又は呼出符号) へ中継してくれませんか。	こちらは、無料で… (名称又は呼出符号) へ中継しましょう。
QSU	こちらは、この周波数 (又は…kHz (若しくはMHz)) で (種別…の発射で) 送信又は応答しましょうか。	その周波数 (又は…kHz (若しくはMHz)) で (種別…の発射で) 送信又は応答してください。
QSW	そちらは、この周波数 (又は…kHz (若しくはMHz)) で (種別…の発射で) 送信してくれませんか。	こちらは、この周波数 (又は…kHz (若しくはMHz)) で (種別…の発射で) 送信しましょう。
QSX	そちらは、… (名称又は呼出符号) を…kHz (又はMHz) で又は…の周波数帯若しくは…の通信路で聴取してくれませんか。	こちらは、… (名称又は呼出符号) を…kHz (又はMHz) で又は…の周波数帯若しくは…の通信路で聴取しています。
QSY	こちらは、他の周波数に変更して伝送しましょうか。	他の周波数 (又は…kHz (若しくはMHz)) に変更して伝送してください。
QTH	緯度及び経度で示す (又は他の表示による。) そちらの位置は、何ですか。	こちらの位置は、緯度…、経度… (又は他の表示による。) です。

別表第2号 略符号（抜粋）（運用規則第13条）

略符号	意 義
AA	…の後全部（反復を請求するためには問符の次に使用する。）
AB	…の前全部（反復を請求するためには問符の次に使用する。）
<u>AR</u>	送信の終了符号
<u>AS</u>	送信の待機を要求する符号
BK	送信の中断を要求する符号
BN	…と…との間全部（反復を請求するためには問符の次に使用する。）
<u>BT</u>	同一の伝送の異なる部分を分離する符号
C	肯定する（又はこの前の集合の意義は、肯定と解されたい。）。
CFM	確認してください（又はこちらは、確認します。）。
CL	こちらは、閉局します。
CQ	各局あて一般呼出し
DE	…から（呼出局の呼出符号又は他の識別表示に前置して使用する。）
<u>HH</u>	欧文通信及び自動機通信の訂正符号
K	送信してください。
NIL	こちらは、そちらに送信するものではありません。
NO	否定する（又は誤り。）。
NW	今
OK	こちらは、同意します（又はよろしい。）。
PSE	どうぞ
R	受信しました。
REF	…に関して（又は…を参照してください。）
RPT	反復してください（又はこちらは反復します。）（又は…を反復してください。）。
<u>SOS</u>	遭難信号
TU	ありがとう。
<u>VA</u>	通信の完了符号
VVV	調整符号
WA	…の次の語（反復を請求するためには問符の次に使用する。）
WB	…の前の語（反復を請求するためには問符の次に使用する。）

別表第4号 無線電話通信の略語（抜粋）（運用規則第14条）

略 語	意義又は左欄の略語に相当する無線電信の略符号
遭難、MAYDAY又はメーデー	<u>SOS</u>
緊急、PANPAN又はパン パン	XXX
非常	<u>OSO</u>
各局	CQ又はCP
こちらは	DE
どうぞ	K
了解又はOK	R又はRRR
お待ち下さい	<u>AS</u>
反復	RPT
ただいま試験中	EX
本日は晴天なり	VVV
訂正又はCORRECTION	<u>HH</u>
終り	<u>AR</u>
さようなら	<u>VA</u>
誰かこちらを呼びましたか	QRZ?
明りょう度	QRK
感度	QSA
そちらは…（周波数、周波数帯、又は通信路）に変えてください	QSU
そちらは…（周波数、周波数帯、又は通信路）に変更します	QSW
そちらは…（周波数、周波数帯、又は通信路）を聴取します	QSX
通報はありません	QRU